

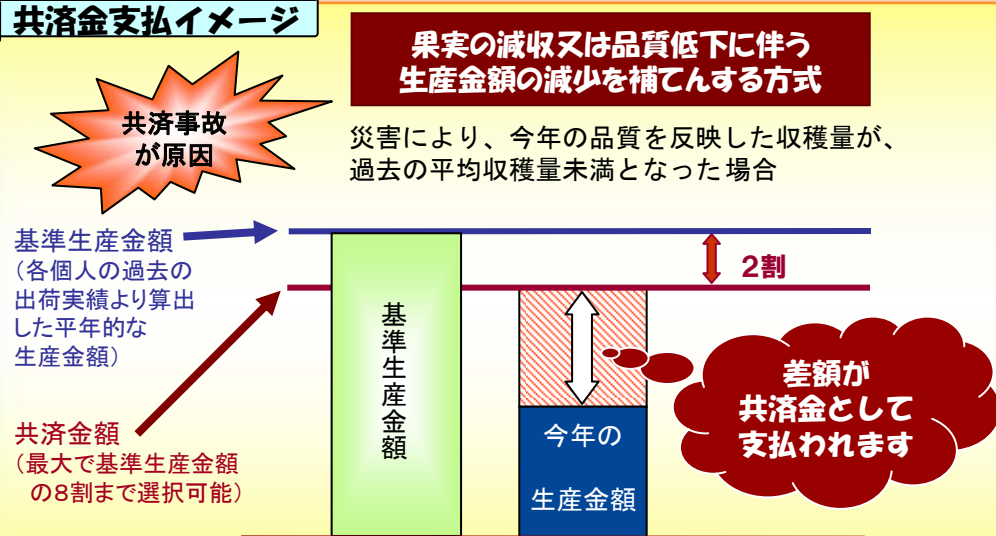
(現状)

- 平成20年産の果樹共済の加入面積は4万5千ha、面積加入率は25.6%(速報値)といずれも前年並み。
平成19年度からの新対策の一環として一層の加入促進を図るため、加入要件の緩和や個々の農業者の被害実態に応じた掛金率の設定、選果場単位での加入等の運用改善を実施。

(課題)

- 運用改善の更なる活用を図るとともに、地域の実態に即応した引受方式の推進により、引き続き加入促進に努力。

共済金支払イメージ



○ 果樹共済の主要樹種の加入率等

(単位: %)

年 産	H17	H18	H19	加入面積 (ha)	H20	加入面積 (ha)	加入戸数 (戸)
うんしゅう みかん	23.1	22.8	24.7	12,020	25.4	12,121	15,146
りんご	29.9	30.6	31.4	12,359	31.3	12,172	16,908
なし	33.4	33.4	34.1	4,848	33.8	4,786	10,490
かき	21.1	21.2	21.0	3,068	21.9	3,173	6,241
全 樹 種	24.6	24.6	25.4	45,298	25.6	45,145	81,802

注: 全樹種の加入戸数については、樹種による重複あり。

○ 最近の共済金の主な支払状況

年 産	主 な 災 害	共済金 (百万円)	支払対象戸数	加入戸数
H10	高温、多雨、日照不足、台風など	9,640	31,444	108,126
H11	低温、ひょう、強風、台風など	10,272	27,691	104,783
H16	低温、ひょう、台風など	9,889	34,841	91,145

注: 戸数については、樹種による重複あり。

○ 19年産以降の新たな加入促進対策

- ・ 果実の減収又は品質低下に伴う生産金額の減少を補てんする方式の加入要件を緩和

系統出荷の資料により生産金額を確認

青色申告関係書類でも生産金額の確認を可能に!

- ・ 個々の農業者の被害実態に応じた掛金率となるような危険段階別掛金率の導入

集落内は一律の掛金率を適用

集落内で更に農家ごとに掛金率を設定